

19950409
[9411]
総20号
発行
桂坂
自治連合会
広報編集部

この一年を顧みて

桂坂自治連合会

会長 菊池潤治

春暖の候を迎え、学区の皆様には益々清栄のことと存じます。平素は自治連合会の諸活動に積極的に参加いただき感謝いたします。

本年度も残り少なくなり、この一年を振り返ってみたいと思います。

自治連合会の本年度の活動の重点は、「住環境の保全・整備」と「各種団体との緊密化」におき、この二本柱を中心として取り組んでまいりました。

環境破壊などがなく、大なるの雰囲気は漂う住みよい快適な桂坂を目指し、各種団体と自治会が緊密な連携のもと、「人にやさしい桂坂」の発展に寄与したいと役員一同精進してまいりました。

先ず住環境の面では昨年来、桂坂郵便局、京都中央信用金庫桂坂支店の開設、ふれあい会館のオープン、「ふれあいの里」バス停留根の完成等、街の様相も随分変わってまいりました。

また、道路施設面におきましても、桂警察署、西京土木事務所のおかげにより

危険地帯に夜光灯が設置され、主要路線には、速度規制・追い越し禁止・横断歩道等を示す標識・表示の新設など交通安全対策が図られました。なお、駐車禁止・信号灯の設置についてはもう少し多角的に検討の上実施の見込みとなりました。

次にセンターゾーンの開発の問題ですが、西洋環境開発の説明により、今年の夏にスーパー・マーケットの建設に着手の予定です。生鮮食品、日用雑貨の店をはじめ、クリーニング店、美容院等十数店舗が開店、駐車場も一五〇台が駐車可能とのことです。

次に、防犯・防災面につきましても、昨年四月、防犯推進員制度が発足し、隙のない街づくりのため、桂警察署から防犯課長らを迎え、実質的な協議会が開催されました。その結果については、鹿野委員長から機関誌や回覧等で徹底していただきました。

さらに自主防災会の育成につきましても、大地震を想定した総合訓練を、洛西支所長、西京消防署長を迎

え、実施し、初期消火・救急法・緊急通報要領等の指導を受けたほか、自主防災要員はリーダー研修のため消防学校へ半日、体験入学の訓練を行いました。今回の阪神大震災の発生以前に訓練ができたことは貴重な体験であったと思えます。今後の問題として、貯水槽の増設、地下水補給対策についても力を入れていく必要があります。

会長をはじめ一三〇名余の会員の方々が施設見学会、親睦の旅など活発な活動をされています。特に阪神大震災救援物資の調達、運搬につきましても支援助力は目を見張るものでございました。

また、本年二月には、大枝山町一、二丁目「けやき自治会発足準備会」が設立され、この四月から自治会活動を開始されます。

（会長井上昭雄氏 八十三世帯）各自自治会のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

なお、その他の重点施策でありました総合連合会館の建立、通勤時の市バス直引便の増発、交番所の新設等につきましても、要請はいたしましたものの、未だ実現に至っておりません。

東地区にも市バスが開通し、古墳公園の植樹も美しく、住宅の建設も急ピッチで進んでいる様子です。

桂坂は現在、約二〇〇〇世帯、七〇〇〇名の方が居住されています。京都市内の人口増加区である西京区においてその一翼を担っております。将来は、さらに発展していくものと期待しています。

その他、新たな組織として、昨年五月、「桂坂女性会」が発足し、安楽

神大震災の義援金につきましては、絶大なご支援を早期に賜り誠にありがとうございます。豊田西京区連合会長、荒田西京区長からも特に学区の皆様によるしくお伝え願いたいとのこととございました。

学区の皆様のご多幸をお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。

寺内敦子 桂坂小学校校長

子どもたちとともに歩む

桂坂自治連合会の皆様平素は桂坂小学校教育推進に格別のご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

三月二十三日、第六回卒業式を挙行いたしました。今年卒業した子どもたちは百三十五名、桂坂校の歴史と共に成長した子どもです。お母さんに手を引かれ、少々不安げに入学したであろうこの子どもたちが卒業証書を手にして堂々と笑みを返してくる姿は感無量でした。

そこでこの一年間桂坂の子どもたちへの願いを込めて語った朝会での話をポイントだけ挙げてみます。私の考えのいく一部や子どもたちの長所となつていて、部分をご理解いただければ幸いに存じます。

交通ルールを守りましょう 制限速度は40キロ



■ 幹線道路 一部 追越し禁止



■ 横断歩道 手前で徐行



■ ロータリー 一方通行 進入時 一時停止

年度末の突貫工事で歩道の構造が一部手直しされ十数ヶ所に横断

歩道も造られました。新たにできた桂坂の交通「体系」を住環境に上手にとり入れて、私たちが住むのに快適な生活空間をつくって行きたいものです。なお、ロータリーから東部地区を抜けて9号線に至る道路も開通しました。

四月——明るい心で、心を込めた美しい日本語で、あいさつしましょう。

五月——大型連休の一日に、ふれあいクリーンデーで桂坂を美しく。

六月——一日は、誰もが二四時間、その中で、今すること明日すること考えて。

七月——ふれあいの里、だれのために、どのようない方をする所か。 たった数人のいたずらで、「桂坂の子はわるい?」

九月——自分に自信を。 高学年の子が一年生の荷物を持って登校。やさしさも大きな自信。

十月——西養護学校との交流学習、心の輪を広げ、本当のやさしさを考えて。

十一月——一人一人を認め合うことの大切さ。友だちが上手にできた時、心からの拍手を。

十二月——隣の国、韓国。 朝鮮の楽器チャングの演奏を聞く。六月に学校訪問に来られた三〇名の韓国の先生も歌が

上手だとほめて。

一月——阪神大震災の義援金のお礼。大文字駅伝予選で三位。一つのことをやり遂げることの大切さ、実感。

二月——市バスで倒れた人に対する運転手さんのとつさの言動のすばらしさ。

三月——今の学年の仕上げを。次の学年めざして自分の中の整理を。

こういう話をしている中で、子どもたちも書き、

「一年間を振り返るといろいろ学んだ。楽しかった。自分でも成長したと思う。言葉の使い方、はじめなどよくなった。思いやみ、やさしさ、桂坂の子は。いいえ、さ

せていかねばと思います。そのために、私たち学校の教職員も日々励もうと考えております。

自治連合会の皆様方も子どもたちの成長を見守っていただきますよう、これからもどうぞよろしくお祈り申し上げます。

足早に過ぎた一年を振り返ってみました。皆様方にお世話になり、心よりお礼申し上げます。

桂坂小学校の西方、山の
辺の公園を中心に広がる御
陵大枝山町一、二丁目。

ここに「桂坂けやき自治
会」が産声をあげ、自治連
合会の仲間入りをさせてい
ただきました。

従来、自治会組織がない
ために皆さんに大変お世話
になったり、ご不便をおか
けしてきまして、自治連
合会のご指導をいたたく
中で、昨年の五月から設立
準備にかかりました。

当初は自治会不要の声も
一部で聞かれ、今一つの盛
り上がりでしたが、日を追
うごとに機運が高まりまし
た。また大震災を目の当り
に見て、その必要性・重要
性が再認識されたこともま
た事実です。

今まで話しかけることも
なかった町内の方々とも、
自治会設立を契機に多くの



旧山陰街道 V

淳和天皇御母陵、大枝神
社、光仁天皇皇后陵、三宮
神社、児大明神、大江関跡
などたくさん史跡を辿つ
た旧街道の一人歩きも終わ
りに近づいて来ました。

前回紹介しました国道9
号線沿いの「蓮華の道」か
ら亀岡に向かって歩いて行
くと、「老の坂トンネル」
があります。かなり古いこ
のトンネルは、明治十六年
(一八八三) 開通の松風洞
昭和九年(一九三四) 開通

昭和九年(一九三四) 開通

桂坂けやき自治会の発足に寄せて

けやき自治会 会長 井上 貞友 佳

コミュニケーションが生ま
れました。
ただ自治会運営の経験者
が少なく、何から手を着け
るべきか暗中模索の状況で
すが、「歩きながら考えよ
う」を合言葉に、まず周辺
環境の美化から取り組みを
進めることにして、今は燃
えています。
皆さまがたの足手まとい
にならないように努力を致
しますが、暖かいご指導と
ご支援で、新生自治会をお
育てくださいますよう、お
願ひいたします。
会員のアンケート結果か
ら名付けられた「けやき自
治会」。太い幹が真直に伸
び、籐状に大空に枝を張る
「けやき」のように、限り
ない自治会の発展を夢見て
います。

平成七年一月十七
日、兵庫県南部を襲
った地震は神戸を中
心に想像を絶する被
害をもたらしました。す。一方、世界各
レビから中継される
映像に釘づけになり、
報道される惨状にた
だただ唖然とするだ
けであったと思いま
す。
しかしながら、あ
れだけの悲惨な災害
の後、被災された人
々の秩序ある冷静な
行動は賛えられるべ
き光景でありました。
救援物資として送ら
れたパンや水を分か
ち合い、配給の品を
整然と並んで待つ姿
は世界中の人々に日
本人の秩序感覚を示
したものと思ひます。管理能力の欠如を露

阪神大震災に思う

長崎支店 桂坂 善晴 中 信 辻

また、被災者同士の
助け合いや献身的な
ボランティア活動に
も、感動したもので
す。一方、世界各
所に残念でなりま
せぬ。
そんな中、二月四日(土)
に京都中央信用金庫の桂坂
支店と洛西支店の有志十名
で、神戸市須磨区の太田中
学校へボランティア活動に
行ってまいりました。ボラ
ンティア参加の切っ掛けは
地震発生後、度々現地へ行
かれていたR氏から被災者
の現状とボランティアの活
動内容をお聞きしたことか
らで、マスコミを通じて得
た情報の中から「我々に一
体何が出来るだろう」と話
し合っていた矢先のこと
でした。
太田中学校の先生に、必
要な物資を電話で聞いたと
ころ「ゴム長靴が欲しい」
とのこと。早速、長靴二十
足とタオル、手袋、ティッ
シュ等の消耗品を揃え、電
車、バスを乗り継いで持参
いたしました。

呈したもので残念でなりま
せぬ。
そんな中、二月四日(土)
に京都中央信用金庫の桂坂
支店と洛西支店の有志十名
で、神戸市須磨区の太田中
学校へボランティア活動に
行ってまいりました。ボラ
ンティア参加の切っ掛けは
地震発生後、度々現地へ行
かれていたR氏から被災者
の現状とボランティアの活
動内容をお聞きしたことか
らで、マスコミを通じて得
た情報の中から「我々に一
体何が出来るだろう」と話
し合っていた矢先のこと
でした。
太田中学校の先生に、必
要な物資を電話で聞いたと
ころ「ゴム長靴が欲しい」
とのこと。早速、長靴二十
足とタオル、手袋、ティッ
シュ等の消耗品を揃え、電
車、バスを乗り継いで持参
いたしました。

いたしました。現地へ到着
するや、あまりの悲惨な状
況に一同我が目を疑い、言
葉を失いました。テレビや
新聞で見ていた光景と比較
できないような惨状を目の
当たりにして、「人の不幸
を我が身の不幸にできない
が精一杯のお手伝いをしよ
う」と思わずにいられませ
んでした。
炊き出しの準備や衣料品
食料品等の救援物資の運搬
など忙しくハードな一日で
ありましたが、被災者の皆
さんに大変喜んでいただき
ました。この活動を通じて
ボランティアの皆さんのご
苦労と被災者の方々の相互
扶助の精神を感じること
ができ、大変有意義な一
日でありました。今後もこ
のような活動には積極的に
参加をしていきたいと思
っております。

桂坂学区自主防災会より

山林火災訓練

来る四月一六日(日)の
午前一〇時から約一時間、
「山林火災訓練」が実施さ
れます。
場所は、御陵峯ヶ堂の造
成現場の北側。ロータリー
から東部地区の方に入って
行きます。

「山林防火強調月間」の
行事の一つとして行われる
もので、消防署と消防団合
同の訓練です。
飯盒炊き込み後の火の不始
末、タバコのポイ捨てなど
が「山火事」という思わぬ
大事を招いたりします。気
を付けたいものです。
訓練の見学には、ご近所
お誘い合わせの上お出でく
ださい。

「どろぼう」の被害

被災地区の復興には十年
の歳月と十兆円以上の資金
が必要であると試算されて
いますが、今なお二十万人
以上の避難民がおられるこ
とを思うと一日も早い復興
を願わずにいられません。
住宅建設の相次ぐ住宅地
では、作業をする人を装っ
て家財を失敬して行く「梁
上の君子」が暗躍します。
不審な人物、車を見たら
警察にご連絡ください。

後を絶ちません

「ふれあい文化教室」
「春の講座」募集案内
詳細は「ふれあい会館」
333-4653

陶芸

四月一五日、毎週土曜
講師：渡辺敏朗氏

茶道

四月一九日、毎週水曜
講師：布施宗青氏

水墨画

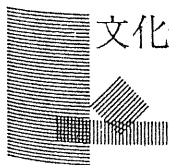
四月二五日、毎週火曜
講師：山本六郎氏

フラワーアレンジ

四月二五日、毎週火曜
全六回
講師：川本陽隆氏

竹工芸

第一回 五月二日
第二金曜
講師：中川正次氏



文化

四月二日
午後一時三〇分
「日文研」ホール
受講料 九四〇円
唱歌にうたう日本の四季
講師 廣瀬量平氏
芳賀 徹氏
歌唱 蔵田裕行氏
堂森壽子氏
三井ツヤ子氏
手島孝 教氏
伴奏 山上友佳子氏

「ふれあい文化教室」
「春の講座」募集案内
詳細は「ふれあい会館」
333-4653

「ふれあい文化教室」
「春の講座」募集案内
詳細は「ふれあい会館」
333-4653

「ふれあい文化教室」
「春の講座」募集案内
詳細は「ふれあい会館」
333-4653

「ふれあい文化教室」
「春の講座」募集案内
詳細は「ふれあい会館」
333-4653

「ふれあい文化教室」
「春の講座」募集案内
詳細は「ふれあい会館」
333-4653

「ふれあい文化教室」
「春の講座」募集案内
詳細は「ふれあい会館」
333-4653

「ふれあい文化教室」
「春の講座」募集案内
詳細は「ふれあい会館」
333-4653

「ふれあい文化教室」
「春の講座」募集案内
詳細は「ふれあい会館」
333-4653

「ふれあい文化教室」
「春の講座」募集案内
詳細は「ふれあい会館」
333-4653

「ふれあい文化教室」
「春の講座」募集案内
詳細は「ふれあい会館」
333-4653

「ふれあい文化教室」
「春の講座」募集案内
詳細は「ふれあい会館」
333-4653

「ふれあい文化教室」
「春の講座」募集案内
詳細は「ふれあい会館」
333-4653

「ふれあい文化教室」
「春の講座」募集案内
詳細は「ふれあい会館」
333-4653

伝言板

ふれあい会館

「ふれあい会館」 月一日より平常通り
が長い間、兵庫県南に会館事業を再開し、
部地震被災者の支援 レストラン「ベルデ」
施設となつていたた も従来通り営業させ
め、大変迷惑をか ていただきます。但
けてまいりました。 し、宿泊業務は四月
お蔭をもちまして、 八日より始めます。
所期の目的を達成す 何卒これまで同様
ることができました。 のご愛顧ご鞭撻をよ
誠にありがとうございます。 ろしくお願いいたし
ます。
つきましては、四